

# 一般質問

自由民主党西東京市議団(自民西) 市民クラブ(市ク)  
日本共産党西東京市議団(共産) 民主党西東京(民主)  
西東京市議会公明党(公明) 自由民主党(自民)  
生活者ネットワーク(生ネ) 市民の会(市民)

## 市民の健康や生活を 守る気があるのか!

森 輝雄(無所属)

情報公開

【質問】職員が職務上入手したり作成した文書はすべて公文書との答弁を得ている。すべての職員にどう周知させるのか。

【答弁】手引き書で条例の趣旨を徹底させ、適正に運用するようにしていく。



都市計画道路保谷3・2・6号線

36m道路・調布保谷線

【質問】西武新宿線南側では民家の前に3.3mの壁ができて、池袋線では踏切の閉鎖で、横断のために50mも迂回しなければならぬ。東京青空訴訟の判決は、沿道50m以内のぜんそく患者を排斥し公害の被害者と認定し、東京都に損害賠償を命じた。市長は調布保谷線にどんな姿勢で臨むのか。

【答弁】判決は産業道路に対するもので、調布保谷線は生活道路だから該当しない。【質問】昼間交通量が4万台を超える道路への判決だ。産業道路の話ではない。青梅街道の交差点では5万台が通り、必ず被害が起こる。

## 市民サービスは高く 市民負担は低く

遠藤 源太郎(自民西)

【質問】西東京市が誕生して間もなく2年になるが、両庁舎に分散している窓口が不便だという声が多い。総合窓口の設置が、一方の庁舎の肩がわりをする担当をつくれれば、市民サービスが向上するのではないかと。市長 総合窓口を設置する余裕はないが、検討する。

【質問】新市発足時に課題として先送りした公共下水道料金は、安い旧田無の料金体系に統一するべきだ。

【答弁】難しい。審議会の答申を待ちたい。

【質問】学校選択制に基づく新入学児が決定された。通学路の安全確保に力を注ぐ。

【教育長】交通擁護員を増す。

【質問】本市における緑の確保



建設中のマンション(谷戸町2丁目)

## 合併効果の成否は 市長の行政努力次第

浜野 重男(自民西)

【質問】西東京市の誕生から2年が経過したが、市民期待の合併効果がなかなか目に見えてこない。むしろ不便になった等の声さえ聞く。合併が実現して必然的に得られる効果として、市長職を初め特別職や議員、職員

市長にその認識はあるか。

【答弁】他の生活道路と同じだ。それが調布までつながるだけ。10mの環境施設帯で環境に配慮している。

【質問】道路施行者の東京都自身が、環状9号線の性格を持った道路と言っている。それを西東京市が違つて言つたのでは話にならない。答弁は結構だ。

等の人件費の削減があり、国の補助もあるが、より大きな効果は今後の行政努力で得られるものである。

合併によって大きな力になった財政力、行政力をいかに効率よく使って行政を進めることができるか、市長の行政努力いかんにかかっている。市長自身の、現時点における効果の評価と今後の対応姿勢を問う。

また、市民参加については、大変積極姿勢と受けとめるが、市民意見を重視する余りに計画行政をゆがめてしまつ心配はないか。市長はもっと市民をリードする指導性を持つべきと思うがどうか。

## 市内地域商店街の 振興策について

海老沢 進(自民西)

【質問】少子高齢社会では、老人や子どもの手を引く親が安全に、安心して家の近くで買い物ができるまちづくりが求められている。市内各地域の商店街は、住民の生活と密着し、地域の利便と街のにぎわいに貢献している。

【市長】合併効果を上げる努力をしている。3、4年先には大きい効果も出る。財政面での節減効果等は、市民に理解していただけるようPRする。新市建設計画を進めて効果を実感できるようにしたい。また、長期総合計画に即して、できる限り市民参加を求めて市民意見を市政に反映する。

【質問】用途地域の見直し作業は、平成15年2月ごろから市民説明会を開き、市民の意見を聞きながら進める予定になっているが、西東京市全体としてどのように整合性をとるのか。

【答弁】旧市境の整合性は考慮するが、全体としては旧両市を一つにした従来どおりである。

【質問】今回の見直し作業で大きく変更の予定される地域はあるのか。

【答弁】保谷駅北口が道路整備されたので、この地域が該当する可能性がある。

【質問】建ぺい率40%の地域を50%にする考えはないか。

【答弁】現段階ではない。

【質問】50%に見直しを。

## 起業支援窓口(インゲビル内)で対応している。

【質問】田無・保谷商工会合併への協議の現状、市の支援体制は。

【答弁】12月に両会の合同調査会を設置し、15年4月に法定協議会を設置し、16年4月の統合を目指す。調査会には市職員を参加させ、円滑な調整と合併の実現を支援していく。



## 道路整備と公園管理協力員について

猪野 滋(市ク)

【質問】平成8年に都が策定した都市計画道路第二次事業化計画(平成8~17年度)の整備率及び今後の計画はどうか。また、市道の整備状況はどうか。

【答弁】市内の計画路線は37路線。実施中が9路線、うち市施行は4路線。整備率は区部平均56.5%、多摩平均49.3%に対して、市内は27.2%。公道総延長198kmのうち、規格改良路線は126kmで、幅員4m以上が70.9%、4m未満が29.1%。歩道の設置状況は、旧保谷地域で26%、旧田無地域で9.5%。道路整備計画委員会を立ち上げた。道路整備要綱に基づき整備を進める。

【質問】公園管理協力員制度

【質問】平成8年に都が策定した都市計画道路第二次事業化計画(平成8~17年度)の整備率及び今後の計画はどうか。また、市道の整備状況はどうか。

【質問】平成8年に都が策定した都市計画道路第二次事業化計画(平成8~17年度)の整備率及び今後の計画はどうか。また、市道の整備状況はどうか。

【質問】10月31日現在、21団体、個人28名の計39名。団体や個人ごとに活動願っているが、「情報交換の場がほしい」といった意見が出ている。合併記念公園懇談会の皆様の力をかりし、公園ニュースや市のホームページ、掲示物などで広く広報活動を行い、合併記念公園の管理に生かしていきたい。

## 用途地域の見直し 建ぺい率40%を50%へ

鈴木 久幸(自民西)

【質問】用途地域の見直しは、平成15年7月をめどに東京都へ市の原案を提出することになると市報に掲載されていた。また、西東京市まちづくり基本方針が示され、西東京市都市計画マスタープラン策定の第一歩である

と説明されているが、西東京市全体の土地利用計画は用途地域の指定が示されれば大枠で決定されることになると考える。西東京市都市計画マスタープランは、いつごろできるのか。

【答弁】平成15年度中に案を